

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-115	高等学校	商業	ビジネス基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7実教	商業 334	ビジネス基礎 新訂版		

1. 編修の趣旨及び留意点

教科書の内容は、職業との関連を大きな主題としており、授業を通じて勤労を重んずる態度の醸成ができるようにすることをとりわけ意識している。

教科書では、経済の仕組みの中におけるビジネスの意義や役割などを始めとした、ビジネスに関する基礎的な知識や技術を習得させ、自己責任や社会貢献の意義など経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、円滑にコミュニケーションを図り、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度の育成を目指している。また、商業を学ぶ目的や学び方、卒業後の進路などについてのガイダンスを行い、生徒の主体的な学習について考えさせるなど、学習の動機付けも図っている。

2. 編修の基本方針

- ・職業及び生活との関連を重視する態度を養う観点から、本文記述とともに実社会に即した具体的事例を「CASE」として掲載した。
- ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、本文記述に関連した興味深い考察を「コラム」として掲載した。
- ・自主及び自律の精神を養う観点から、節の終わりに節の内容の理解度を問う「確認問題」を掲載し、自学自習に取り組めるようにした。
- ・主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、節の終わりに節の内容からテーマを立てた「調べ学習」を掲載し、主体的に内容の理解を深める学習ができるようにした。
- ・他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、専門用語には英語訳を併記した。

3. 対照表

図書の内容・構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
見返し・口絵	<p>職業及び生活との関連を重視する観点から、街の全景のイラストを描き、街のあらゆるところにビジネスが存在することを想起させて、生徒の生活と教科書で学ぶビジネスの内容の関連性をイメージできるようにした。（第2号）</p> <p>生命を尊び、自然を大切にす観点から、環境に配慮した次世代自動車をテーマとして取り上げ、ビジネスとしての可能性を示唆しながら、環境保全の重要性を理解できるようにした。（第4号）</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養う観点から、日本のすぐれたものづくりをテーマとしてとりあげ、日本の技術や発想が世界的に高い評価を得ていることを理解できるようにした。（第5号）</p>	<p>巻頭①②</p> <p>巻頭③④</p> <p>巻頭⑤⑥</p>
1章	<p>職業及び生活との関連を重視する観点から、生徒がビジネスの世界をイメージしやすいように、イラストを活用し、ビジネスの世界の代表的な場面について記述した。（第2号）</p> <p>他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、日本を訪れる外国人旅行者を取り上げて経済のグローバル化について記述している。（第5号）</p> <p>自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、ビジネスを行うにあたって、チームワークを重んじ、のぞましい人間関係を構築する必要性について、イラストをまじえて記述した。（第3号）</p> <p>公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、ビジネスは利益を得ることを目標とするが、倫理観や責任感をもって行う必要があることを、ゴシック体の用語をまじえて記述した。（第3号）</p> <p>創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、新しい技術やアイデアを生み出す創造性や創造性を身につけるために主体性の獲得が重要であることを、ゴシック体の用語をまじえて記述した。（第2号）</p>	<p>p. 8</p> <p>p. 9</p> <p>p. 12</p> <p>p. 12, p. 13</p> <p>p. 13</p>

	<p>個人の価値を尊重して、勤労を重んずる態度を養う観点から、商業の各科目の内容と進路の関連性を記述し、生徒自身が高校生活で何をやるべきか考えさせるきっかけになるように、職業イメージの写真を掲載した。(第2号)</p>	p. 20
	<p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、ビジネスの発展・変化とともに、ビジネスについて学び続ける必要性について、ゴシック体の用語をまじえて記述した。(第1号)</p>	p. 22
2章	<p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、経済と流通の基礎的な内容について記述した。(第1号)</p>	p. 24~58
	<p>公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、ビジネスが経済の原動力となり、社会全体を豊かにする役割を果たしていることを、イラストをまじえて記述した。(第3号)</p>	p. 31
	<p>他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、グローバル化とビジネスの関係性の中で、学ぶべき事項としてローカライゼーションの考え方を取り上げた。(第5号)</p>	p. 39
	<p>生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、環境・エネルギー問題に対応するためのビジネスを列挙し、問題解決のためにあらゆる可能性があることを示した。(第5号)</p>	p. 40, p. 41
	<p>自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、高齢者への配慮を重視するためにユニバーサルデザインを採用する企業が増えていることを、事例をまじえて記述した。(第3号)</p>	p. 43
	<p>伝統と文化を尊重する態度を養う観点から、わが国の小売業の現状を記述する際に、かつての小売業の実態に対しても触れ、二つを比較する形で記述を行った。(第5号)</p>	p. 54
3章	<p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、小売業者や金融業者など、さまざまなビジネスの担い手について記述した。(第1号)</p>	p. 60~102
	<p>正義と責任を重んずる態度を養う観点から、生産者のビジネスの特徴に関する項目の中で、製造物責任法について記述した。(第3号)</p>	p. 61
	<p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国</p>	p. 62

	<p>と郷土を愛する態度を養う観点から、生産者の動向の説明として、わが国のものづくりをテーマに取り上げ、わが国の製造業が世界に誇る技術を有していることを記述した。(第5号)</p> <p>他国を尊重する観点から、食品の海外進出の説明において、フランス料理におけるバターの使用方法について記述した。(第5号)</p> <p>豊かな情操と道徳心を培う観点から、サービス業のビジネスの特徴に関する項目の中で、おもてなしの心が日本人の国民性であり、多くの国民が親切であることが国としての強みであることを記述した。(第1号)</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養う観点から、商業集積の項目で、わが国の活性化に取り組む商店街を事例として取り上げて、その活動について写真をまじえて記述した。(第5号)</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養う観点から、卸売業の動向の項目で、卸売業者と消費者の直接取引の事例としてわが国の卸売市場を取り上げて、その役割について写真をまじえて記述した。(第5号)</p> <p>自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、保険制度の成り立ちに、相互扶助の目的があることを記述した。(第3号)</p>	<p>p. 63</p> <p>p. 66</p> <p>p. 75</p> <p>p. 83</p> <p>p. 95</p>
4章	<p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、企業活動の基礎について記述した。(第1号)</p> <p>公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、企業や社会が発展するために、経営理念や企業家精神が重要であることを、ゴシック体の用語をまじえて記述した。(第3号)</p> <p>勤労を重んずる態度を養う観点から、雇用の意義の項目のなかで、雇用の意義を説明するとともに、年齢階級別の完全失業率の推移を示すグラフを掲載した。(第2号)</p> <p>正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、雇用環境の変化によって新たな課題が生まれることを記述し、企業に求められる環境づくりの説明として福利厚生制度をまとめた表を掲</p>	<p>p. 104～130</p> <p>p. 104, p. 105</p> <p>p. 119</p> <p>p. 125</p>

	<p>載した。(第3号)</p> <p>豊かな情操と道徳心を養う観点から、企業倫理の項目で、近年わが国で実際に起こった企業不祥事を取り上げて記述した。(第1号)</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養う観点から、企業が守るべき倫理の説明に際し、わが国の江戸時代の商人の考え方を取り上げた。(第5号)</p>	<p>p. 127</p> <p>p. 129</p>
5章	<p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、売買取引を行うときの手順と代金決済の方法について記述した。(第1号)</p> <p>職業及び生活との関連を重視する観点から、売買契約の条件の項目で、生徒自身が消費者として売買を行っていることがわかるように記述した。(第2号)</p>	<p>p. 132～148</p> <p>p. 133</p>
6章	<p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、売買に関する計算について記述した。(第1号)</p> <p>職業及び生活との関連を重視する観点から、割合の項目で、生徒自身が買い物をするとき割合の価格表示に接していることがわかるように記述をした。(第2号)</p> <p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、利息の計算の項目では、時間の経過を考えに入れた価値の計算を取り上げ、複利計算に関する理解を深められるようにした。(第1号)</p>	<p>p. 150～170</p> <p>p. 150</p> <p>p. 169</p>
7章	<p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、売買に関する計算について記述した。(第1号)</p> <p>自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、コミュニケーションの役割の項目で、たがいに尊重し、誠意と思いやりをもって接することが大切であることについて記述した。(第2号)</p> <p>豊かな情操と道徳心を培う観点から、ことばとコミュニケーションの項目で、好印象をもたれるコミュニケーション方法を、生徒が実感できるようにイラストを活用して説明した。(第1号)</p> <p>正義と責任を重んずる態度を養う観点から、情報の入手の項目で、まちがった情報をもとにビジネスを行うことの代償について記述した。</p>	<p>p. 172～199</p> <p>p. 172</p> <p>p. 174</p> <p>p. 196</p>

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-115	高等学校	商業	ビジネス基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7実教	商業 334	ビジネス基礎 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

「ビジネス基礎」が商業に関する学科の原則履修科目であり、1年次の履修が中心であることから、生徒が興味を持って学習しながら、基礎的・基本的な事項を無理なく習得できるように、以下の点に配慮した。

(1) 節のはじまりで、その節の内容に関する問いかけを行い、学習の目的を意識しながら学習できるようにした。

(2) 「1章 商業の学習ガイダンス」では、商業の学習を通じてビジネスに対する心構えを身に付ける必要があることを示すために、学習指導要領の「(1) 商業の学習ガイダンス」の内容とともに、「(2) ビジネスとコミュニケーション」の「ア ビジネスに対する心構え」の内容も取り上げた。

(3) 「2章 経済と流通の基礎」では、希少性や機会費用など、経済に関する専門的な概念を取り上げる際には、生徒の実生活に即したコラムを用いて、詳しく丁寧に説明した。

また、流通に関して理解しやすくするため、特集ページとして「流通の歴史と発展」について記述をまとめた。

(4) 「3章 ビジネスの担い手」では、ビジネスの担い手ごとに近年の動向を取り上げ、ビジネスに関する時事に生徒が関心を持てるようにした。

(5) 「4章 企業活動の基礎」では、「5章 企業倫理」で学習指導要領上の「職業人として求められる倫理」を取り上げ、適切な倫理観を持つことが企業活動の基礎であることを示した。

(6) 学習指導要領の「(3) ビジネスと売買取引」の内容については、「5章 ビジネスと売買取引」と「6章 売買に関する計算」の二つの章で構成し、生徒が売買取引や代金決済の過程を理解した上で、売買に関する計算を学習できるようにした。

また、「6章 売買に関する計算」では、項ごとの「確認問題」とともに、1節と2節

の終わりにそれぞれの節の内容をまとめた「練習問題」を掲載し、生徒が理解度を高められるようにした。

(7) 「7章 ビジネスとコミュニケーション」では、電話応対と来客応対をテーマとした実習問題として「ロールプレイング」を取り上げ、生徒がビジネスマナーを実践的に習得できるようにした。

(8) 側注欄に、生徒をイラスト化したキャラクターの吹き出しを掲載し、内容の理解を助ける役割を与えた。

(9) 側注欄に、重要用語の意味をまとめた「Word」を掲載し、用語の意味が理解しやすくなるようにした。

(10) 本文下には適宜参照ページを示し、教科書全体の流れをつかみ、相互の内容について理解が深まるようにした。

(11) 巻末では、本書（申請図書）の重要用語をまとめた「重要用語のまとめと解説」を掲載した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1章 商業の学習ガイダンス 1節 21世紀にはばたく	(1) 商業の学習ガイダンス ア 商業を学ぶ目的と学び方 (2) ビジネスとコミュニケーション ア ビジネスに対する心構え	p. 6～13	(5) 3
2節 しっかり楽しく学んでいこう	(1) 商業の学習ガイダンス イ 商業の学習分野と職業	p. 14～22	2
2章 経済と流通の基礎 1節 経済のしくみとビジネス 2節 社会の変化とビジネスの発展 3節 経済活動と流通	(4) 経済と流通の基礎 ア 経済の基礎 イ ビジネスの役割と発展 ウ 経済活動と流通	p. 24～58	(16) 7 4 5
3章 ビジネスの担い手 1節 ものの生産者 2節 サービスの生産者 3節 小売業 4節 卸売業 5節 物流業 6節 金融業	(4) 経済と流通の基礎 エ ビジネスの担い手	p. 60～102	(23) 3 3 4 3 3 4

7節 情報通信業			3
4章 企業活動の基礎	(5) 企業活動の基礎	p. 104～125	(17)
1節 ビジネスと企業	ア 企業の形態と経営組織		4
2節 資金調達	イ 資金調達		3
3節 企業活動と税	ウ 企業活動と税		3
4節 雇用	エ 雇用		4
5節 企業倫理	(4) 経済と流通の基礎	p. 126～130	3
	エ ビジネスの担い手		
5章 ビジネスと売買取引	(3) ビジネスと売買取引	p. 132～148	(12)
1節 売買取引の手順	ア 売買取引とビジネス計算の基礎		6
2節 代金決済	イ 代金決済		6
6章 売買に関する計算	(3) ビジネスと売買取引	p. 150～170	(16)
1節 売買に関する計算の基礎	ア 売買取引とビジネス計算の基礎		8
2節 売買に関する計算の応用			8
7章 ビジネスとコミュニケーション	(2) ビジネスとコミュニケーション	p. 172～199	(16)
1節 コミュニケーション	ア ビジネスに対する心構え		3
2節 ビジネスマナー	イ コミュニケーションの基礎		10
3節 情報の入手と活用	ウ 情報入手と活用		3
		合計	105

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-115	高等学校	商業	ビジネス基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 334	ビジネス基礎 新訂版		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項
169 頁	時間の経過を考えに入れた価値の 計算	1	(3) ア 売買取引とビジネス計算の基礎 (科目「財務会計Ⅱ」(2)ア 資産会計 で扱う内容を一部取り上げた)

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 1 ページ)

(「類型」の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容